

# 自蹊庵便り

令和四年 神無月

NO 158

人生のカウントダウンⅡ

く人運・時運というものゝ

今年も暦の上からいいますと壬寅（みずのえとら、じんいん）に当たります。壬は

十干の九番目「水の兄」が当てられ、海・川・洪水の水を意味するそうです。占いを

信じるわけではありませんが、長年茶事一筋をやり続けておりますと、木火土金水、

陰陽五行が頭にこびりついていていけるせいか、私の中ではついつい結びつける思考傾向に

あるようです。この度の大型の台風十四号は日本列島各地に爪痕を残しそうです。こ

の稿を執筆中に九州上陸のニュースの只中故、只々大災害に至らないことを祈るばかりです。

三年前ドイツを旅した折も大型台風の中での出発、帰国の折も大型台風のニュース

の帰国、ドイツ在住の方々から、このままドイツに住まわれてはいかがですか、ドイツは台風も地震もない国ですよ、ですから

家々の窓から美しい花を飾って道行く人々に楽しんでいただくことができるのです。あの地震や災害の多い小さな島に住む人の気持ちに理解できません：と。

そうですよね！なるほどそう思われてもしかたありませんね。

ここ二～三年は特に大雨の上にゲリラという名がつくほどの異常気象ですものね。

日本という美しい島国をどうぞお守りくださいますように。自然豊かな恵みは神おわ守りくださいますように！

さて先号にて人生のカウントダウンについてお人の中に何が残せるか：について、

思いつくままに筆の走るにまかせて書きましたが、良く考えてみますと茶を喫するこ

との意味すら確かな手応えに辿り得ていず、手探りの状況でありますのに：何を残せると云えるのでしょうか。

つい筆がすべり、それは心もすべっているというところにございます。

茶事千回場数だけは：と申すも、茶事らしきものやり続けてきただけにございす。穏やかに終日笑顔を絶やすことなく、

さらさら茶事を楽しんでこそ、お人への一服も美味なるに、未だ湯相と火相の御機嫌を損ね、ああでもない、こうでもない、ああすれば良かった、こうすれば良かった、うろろうろ、おろおろ心引きずる日々にございます。無心の一服、未だ遠くにありますか。いえいえ、益々遠くなるばかりのようにも思え、心許なき八十路の入口にございます。

この世に完全なるものは何も無きことを思えば、私如きが思い煩うことすらおこがましいことなるゆえ、さらさらとやり続けていけばいいのです。楽しく優しくです。

私めの身の丈にあった茶事の答えにございす：が、現実には些細なことでも天使達を叱り、それも些細なことばかり、小さな小さ

な事々にございます。これを小言こごとと云うの  
でございます。

キャリア組の皆様には、一年一年目標を  
持って関わるよう常々助言しております  
が、たとえば今年後半の働きをしっかりと  
身につけよう、魚を捌くことを制覇？しよ  
う、客振り、亭主振りにも、足の運び一つ  
にも清しさが伝わるよう、会話する言葉一  
つの間合いをも意識化におき、心掛けてみ  
よう等々、良き活動に満ちたまなびやにな  
るにはと、何はともあれ、気がついてみれ  
ば、すべからく吾が身に降りかかることば  
かりにて、一年一年目標を持たなければい  
けないのは自分であつたかと…。

今日一日を余念無く生きるということ、  
簡単なようでいて、これほどシンプルな言  
葉もありませんが、なかなか、なかなか  
ございます。

人の世には常に人運、時運というものが  
あります、お人との出逢いは、その人の一  
生を左右します。お人によっては幸運もあ  
れば不運というものもあるでしょう。お人  
がお人と出会う意義を思いますとき、お人  
の中で生かされてこそその人生としみじみ思

う日々でございます。

日本文化の大きな存在である茶の湯とい  
うもの茶道というものに出会った人々が更  
なる茶の奥深さに向かうとき、茶事という  
ものに心血を注ぎ、自己修練にいそむ、  
そういう贅沢な時運を得られる人々もほん  
のひとにぎりの出会い、なればこその人運  
にございます。人運、時運を共に大切に、  
学びあつていけたらと願っております。  
なにがなしには得られない奇跡の上での  
人運、時運にございます。

御縁を賜った皆様の中にも、癌の治療中  
の方が三々四名おられ、過去には治療の余  
儀なく逝かれた方もおられました。三十年  
余の間に厳しいお別れも数知れずございま  
す。その度に断腸の想いかられますこと  
は毎朝、茶匙一杯の抹茶を愛飲して頂いて  
いたら…と。茶経にも「一味匙の直あた千貫  
に至る」とありますように、抹茶の効能は  
心身を健やかにします。まなびやでは、四  
季折々の薬草を摘んで干し、皆様に常飲し  
て頂いておりますが、それが難しい方はせ  
めて抹茶の常飲をお勧めします。  
以前にも掲載したことがありますが、若

者達が無農薬で抹茶を作ってくれておりま  
す。かつて中国では唐から宋の時代にか  
けて禅院で飲まれていた抹茶は、そんな苦味が  
心臓に良いとされ、心の臓が達者であれば、  
すべての健やかさに通じると。栄西が持ち  
帰った種が宇治を選ばれたのも、宇治は風  
水の利に恵まれた神聖な霊験のある地で、  
地味に富んだ茶ができるとあります。代々  
続いた茶苑の後継者が途絶えた所を借りて  
日夜頑張っております。

口当たりの良いブレンド力のある老舗の  
お茶に慣れている方々は物足りなく思われ  
るかもしれませんが、露の降り具合で毎年  
出来る上がる味は微妙に違うはずです。ほろ  
にがさの中にもすきつとした後味は尊い味  
と思つて応援しております。

そしてそこに毎月地方の名水が届き（遠  
方の参加者が来庵の途中、立ち寄つて汲ん  
でくれております）、水の優しい甘露さと  
相まって実に美味にございます。水は水道  
水なれば、一晩竹炭でも入れておかれると  
柔らかな口当たりになりますよ。

自然に耳をすまし、足許の力あるものた  
ちをもっと振り向いてみませんか。

## 各種教室

京都教室

十月（神無月）

八瀬自蹊庵

九月三十日（金） 茶事準備・実習

十月一日（土）～二日（日）

正午の茶事（名残）

集合 午前九時

席入 午前十一時半

終了 午後四時半

※お詫びとお断り

今年は何を残せるかではなく、皆様の持っている自らの光が発揮できるよう遮るものがあるれば、陰の枝々をはらう手伝いが一つでも多くできますように…。

十月三日（月）

NHKカルチャーの茶事準備

十月四日（火）梅田教室主催

名残の茶事（十五名様まで）

午前十一時半～午後三時

※裏方、研修スタッフ九時～四時、

御協力のほど、よろしくお願ひ

たします。

十月五日（水）

午前九時半～午前十一時半

利休会記

午後二時～午後四時

会記料理再現 昼食 呈茶

夜の部 食事付き 午後六時半～九時

食事なし 午後七時～九時

十月六日（木）オンライン講座 ライブ

午後四時半～五時四十五分

季節の茶懐石 一汁三菜

十月（名残の茶事）

○汁 そばがき 合わせ味噌

吸口 七味

○向付 鯖の一塩 銀皮細作り

○煮物椀 蓮根餅 光琳菊見立て

※予定は土瓶蒸しになっており

ますが、差し替えます。御了

承ください。（但し、土瓶蒸し

の簡単なデモンストレーション

もいたします）

○焼物 季節の上がりもの

※皆様のお声にお答えするべく、この秋

より旬の茶懐石が始まります。十月～

三月までのカリキュラムはすでに出来上がっており、NHKカルチャー梅田で検索してください。

電話でのお問い合わせ  
061636710808

十一月(霜月)

十一月三日(木) NHKオンライン講座

口切り茶事の献立 一汁三菜

大徳寺瑞峯院餘慶庵茶事 口切り

十一月五日(土) 大徳寺搬入、準備  
十一月六日(日) 〓八日(火)

口切り正午茶事 席入午前十一時半

※実習者は午前九時〓午後四時

大徳寺瑞峯院餘慶庵茶室

〇一年は早いですね。口切りの茶事

拙庵では、濃茶・薄茶共に挽き立てを戴きます。一年に一度の贅沢を是非味わいにお出かけくださいませ。

席入八名、水屋五名、台所五名

合計十八名で締め切らせて頂きます。

十一月九日(水) 利休会記

各種講座・教室

目黒・羅漢寺

利休会記を読み解く会

十月十五日(第三土曜)

※十一月は都合によりお休みです

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千元(昼食・一服)

三千元(会のみ)

担当者 漆原かずみ様

090(4821)4810

湯河原教室

口悦会・利休会記を読み解く会

十月十六日(第三日曜)

旬の食材を楽しむ会

十月十七日(第三月曜)

利休会記を読み解く会

会費 五千元(一日のみ)

八千元(二日間)

担当者 服部宏子様

090(6173)0243

※十一月は都合によりお休みです

柏教室（高橋様宅にて）

口悦会・利休会記を読み解く会

十月十九日（第三水曜）

十一月十六日（第三水曜）

午前九時半～午前十一時半 講義

午前十一時半～午後三時

利休会記再現料理会食

会費 五千元（会食含む）

三千元（講義のみ）

担当者 高橋れい子様

090（6175）1228

栃木農園レストラン

口悦会・利休会記を読み解く会

十月二十日（第三木曜）

十一月十七日（第三木曜）

午前九時半～午前十一時半

利休会記を読み解く階

午前十一時半～午後三時 再現料理

会費 五千元（昼食代別料金）

担当者 青村裕子様

090（9807）3402

市川教室・長松寺

十月二十六日（第四水曜）

午前十時～正午 講義

正午～午後二時半 再現料理会食

会費：五千元（講座のみ：三千元）

担当者 青野かおり様

090（1436）1684

千葉教室・秀明茶室

十月二十六日（第四水曜）

午後三時～午後五時

講座及び菓子と抹茶一服

会費：三千元

担当者 道前一剛様

070（4452）4781

※十一月は市川教室・千葉教室ともに

都合によりお休みです

鎌倉教室・鎌倉彫会館（第四日曜日）

十月二十三日（第四日曜）

午後一時～午後三時

講座のみ

会費：三千元

担当者 角田宗弘様

090（6349）7695

※十一月は都合によりお休みです

講演のお知らせ

NHK文化センター様の御縁をいただき、左記のとおり久々に講演を行います。お近くの皆様と再会できますことを楽しみにしております。

十月二十九日（土） 午前十時半～

NHK文化センター 神戸教室

十一月十九日（土） 午後二時半～

NHK文化センター 広島教室

十一月二十日（日） 午後一時半～

NHK文化センター 高松教室

※講演の申込等は、それぞれの教室にお訪ねください。